

群馬県連盟の会員拡充について

県連・地区・団などの会員拡充については、それぞれご意見をお持ちのことと存じますがなかなか実現されておりません、まずみんなで以下のようなことを一つでも実行することから始めてみませんか（知識は実践してこそパワーになる：スピード&パッション）

1、危機感の不足（県連・地区などの関係役員や、団・隊の関係者など）

- ① 県連、地区で、団でも幹部クラスの方々に危機感が乏しい？（トップが考えること？）
- ② 団としては、多少スカウトが減っても何とか遣り繰り出来てる（標準組織をねらう）
- ③ Boy Scout はボランティアだからそう突き詰められても？？（受けた事には責任感を）
- ④ 企業のように生き残りをかけるといふ危機感が関係者に乏しい？（対応策の検討）
- ⑤ 少子化だから、塾だから、部活だから仕方がないと言って逃げていませんか。

2、責任感&情熱のある指導者育成、役員は適材適所で配置し兼務を避ける

- ① 指導者や、特に役員と言われる人たちの役割、責任の分担が不明確（役割の明確化）
- ② 役割分担後は役員の適材適所をみて業務配分を行う。
- ③ 役員個人の負担軽減のため出来るだけ兼務を避け、担当業務に責任を持って頂く。
- ④ 責任感やパッションの旺盛な人を組織の中に入れていく（組織は人しだいです）
- ⑤ 組織運営は人によって行われます、力が発揮できなくなったら交代もやむを得ない。
- ⑥ 会員拡充に関する団の責任者を明確にして、地区の会員拡充委員長と連携して対応。
- ⑦ スカウトの母親たちによるタスクチームを結成してスカウト募集に努めて頂く。

3、団や地区の現状分析を行い、足元を確認して対策を立て実行する。

- ① 昔話ばかりではなく現状をしっかりと見つめて、団の問題点を把握する（良し悪しを）
- ② 団委員長は会員拡充責任者と団の問題点の対応策を検討する（団会議・団委員会）
- ③ 団委員長は団の課題を明確にして、地区コミッショナーの支援を得て対策案を実施。

4、地区コミッショナーの役割（団・隊に対する支援の実施）

- ① 地区コミッショナーや地区委員会が団委員長の課題問題点へ支援できる様にする。
- ② 県連盟コミッショナーは地区コミッショナーに対する教育や支援体制を強化する。
- ③ 28年度には、日本連盟から地区コミッショナーのマニュアルが再発行されます。

5、県連盟事務局（地区事務局）の役割の明確化と&連携してフル活用する。

- ① 様々な情報が県連事務局には集まってくると思われます。地区、団との連携を密にして組織拡充に役立てるように支援して下さい。
- ② 他県連の会員拡充情報や、募集パンフレットなど委員会・地区等に配布して下さい

7、優秀な指導者の育成が急務である。（優秀な指導者の動きで結果が変わる）

- ① スカウトに慕われ、保護者に信頼される指導者の育成（スカウトが眼に見える進歩）
- ② スペシャルセンス・マネージメントセンス・コモンセンスのバランスが取れている。

以 上